



10月1日現在の天王町
 本籍数 3,979
 本籍人口 14,015
 世帯数 2,667
 住民登録人口 12,901
 内 男女 6,404
 6,497

うのてん報

第20号 昭和40年11月1日発行

発行所
 秋田県天王町役場
 (天王局 1番42番
 135番)

編集
 天王町役場総務課
 印刷
 一日市印刷所
 電話 38番

昭和40年度天王町一般会計予算 (①表)

(昭40. 10. 15現在)

歳入予算額		歳出予算額			
科目	予算額(千円)	科目	予算額(千円)	一世帯当り(円)	一人当り(円)
町税	32,132	議会費	6,334	2,374	491
地方交付金	59,534	総務費	27,601	10,349	2,139
使用料、手数料	3,697	民生費	8,540	3,202	662
国庫支出金	8,618	衛生費	4,673	1,752	362
県支出金	5,012	労働費	10,550	3,955	817
財産収入	12,146	農林水産業費	12,782	4,792	990
寄附金	180	商工費	385	144	29
繰越金	1	土木費	8,252	3,094	639
諸収入	1,121	消防費	5,556	2,083	430
町債	5,800	教育費	29,013	10,878	2,249
		公債費	5,479	2,054	424
		繰上充用費	8,600	3,224	666
		予備費	476	178	36
歳入合計	128,241	歳出合計	128,241	48,084	9,941

町税納入については納税義務者各位のご協力により、年々その成績が向上して来ましたが、いまだ南秋田郡および県の平均まで到達しない状態で、秋田県下七十三市町村の七十番目というまことに遺憾な現状です。

未納、滞納一掃へ
 このような税金の収納状態では町といたしましても、昨年来納

町づくりの協力を「町税完納強調月間」

今後総べての行政的各種の事業、行事などに支障をきたすことは必ず、町民各位の福利関係にも、多大の影響を及ぼす結果になります。

天王町賦課税額内訳 (②表)

(昭40. 10. 15現在)

科目	賦課額(千円)	一世帯当り(円)	一人当り(円)
個人町町民税(法人税を含む)	11,403	4,275	883
個人純固定資産税	11,909	4,465	923
軽自動車税	1,350	506	104
小計	24,662	9,247	1,911
国民健康保険税	14,259	5,346	1,105
合計	38,921	14,593	3,017

税組合の結成に重点をおき、他町村に例のない程の組合助成金を交付するなどして、その育成を急いでまいりましたが、各位の特段のご協力を得ましたが、現在は四一組合、組合員一、五四五人を数え、加入率も六〇%となりました。しかし、いまだ一千万円を越える滞納額があるため、どうしてもその成績が上がりません。先にも「町税完納強調月間」のチラシを配布いたしました。本年は例年よりも強い態度で税収納に對するため、町民各位の納税に對する

十一月のこよみ

- 1日 灯台記念日、狩猟解禁日
- 3日 文化の日
- 4日 秋の無火災運動週間(十日まで)
- 7日 立冬
- 10日 年賀はがき発売
- 11日 全県種苗交換会(大館市十七日まで)、世界平和記念日
- 15日 赤十字デー、七五三
- 21日 寄生虫予防運動(三十日まで)
- 23日 勤労感謝の日、農業祭
- 月異名 霜月(しもつき)
- 誕生石 トパーズ(黄玉)
- 誕生花 菊

関心とご協力を切望し、重ねてお願いする次第です。町の基本財源である税金の徴収いかんが、町政の発展と町民の幸福につながるものであり、町としても、常に「正直者が馬鹿を見ない」よう、また「最少の経費で最大の効果」をあげるべく努力しております。しかし、町民各位のご協力なしでこれらを達することは出来ません。すべての事情を越えて、納税の意義をご理解され、ご協力下さるようお願い申し上げます。上記①表は今年度天王町一般会計の歳入および、歳出の一世帯と一人当りの金額。②表はみなさんから納めていただく税金の内訳です。

第九回 臨時町議会開かる

今年九回目の町議会(臨時)は去る十月十二日招集され、会期を一日としたあと、一般会計補正予算案をはじめ四案件を原案どおり可決した。

可決された議案は次のとおり。

(要旨)

▽町有地の処分について
字上江川四十七番地ノ七の内町有地五、六七二坪を売却しようとするもの。

▽一般会計補正予算について
歳入、歳出に七、二六二千元を追加するもので、これによつて予算総額は二二八、二四一千元になる。

▽秋田県町村職員退職手当組合規約の一部変更について
これは秋田県町村職員退職手当組合に、新たに角館町外三ヶ町村公衆衛生施設組合が加入することにより、規約の一部を変更するというもの。

▽天王町特別職職員非常勤報酬および費用弁償に関する条例の一部改正について
公民館長、同副館長の報酬および費用弁償について規定したものを。

○歳入
国庫支出金 八二八千円
県支出金 三〇七千四千元
財産収入 三三六〇千円

○歳出
総務費 二三四八千円
民生費 四一十千円
農林水産業費 三二四四千円
土木費 三〇千円
教育費 一五九千九百円

▽秋田県町村職員退職手当組合規約の一部変更について
これは秋田県町村職員退職手当組合に、新たに角館町外三ヶ町村公衆衛生施設組合が加入することにより、規約の一部を変更するというもの。

▽天王町特別職職員非常勤報酬および費用弁償に関する条例の一部改正について
公民館長、同副館長の報酬および費用弁償について規定したものを。

昭和40年国勢調査による 人口、世帯の概数

()は昭和35年

部 落 名	世帯数	男	女	計
塩 口	126 (120)	320 (334)	352 (357)	972 (691)
中 羽 立	47 (46)	127 (122)	138 (139)	265 (261)
羽 立	165 (163)	410 (467)	458 (486)	868 (953)
洪 谷	54 (51)	126 (140)	130 (123)	256 (263)
天 王	533 (478)	1,137 (1,145)	1,291 (1,239)	2,428 (2,384)
江 川	189 (166)	443 (443)	516 (478)	959 (921)
児 玉	57 (49)	144 (147)	136 (149)	280 (296)
大 崎	218 (203)	530 (555)	571 (598)	1,101 (1,153)
二 田	535 (479)	1,154 (1,130)	1,185 (1,216)	2,339 (2,346)
鶴 沼 台 沼	47 (45)	104 (179)	146 (86)	250 (265)
下 出 戸	93 (81)	232 (257)	268 (266)	500 (523)
細 戸 開 谷 拓	51 (47)	129 (131)	135 (139)	264 (270)
上 出 戸	95 (89)	244 (250)	247 (262)	491 (512)
追 分 西	53 (48)	103 (107)	105 (108)	208 (215)
北 野 開 拓	50 (35)	90 (66)	114 (87)	204 (153)
追 分	192 (138)	401 (318)	423 (323)	824 (641)
合 計	2,505 (2,238)	5,694 (5,791)	6,215 (6,056)	11,909 (11,847)

種痘・予防注射を受けて下さい

先月実施した「ジフテリア・百日せき混合」三回目の予防注射および「種痘」を次のとおり行ないますので必ず受けて下さい。

◎ジフテリア・百日せきの混合
▽十一月十五日―追分小。▽十

六日―出戸小。▽十七日―役場。▽十八日―東湖小。▽十九日―中羽立。

◎種痘
一、昭和三十九年七月一日から昭和四十年六月三十日までになされた人。
二、明年小・中学校へ入学する人。

▽十一月二十四日―追分小。▽二十五日―出戸小。▽二十六日―役場。▽二十九日―東湖小。▽三十日―中羽立。

※時間はいつでも午後一時から二時まで。
その他、詳細は役場衛生係へお問い合わせ下さい。

ことしは中止

町農産物品評会

十一月開催予定だった農産物品評会が、先の台風襲来で農産物がいためられ、また、農協組合長の重なる不慮の死去など、開催への諸条件がととのわず、関係者間で協議の結果、今年は見おくることになりました。

養豚共進会

養豚の資質向上と健全な経営促進を図るため、左記により共進会共進会を開催します。

日 時 十一月九日(火)
午前八時〜午後四時
(雨天の時は十日)
場 所 天王中学校グラウンド

大そうじについて

十一月八日(月)に秋季大そうじの指導検査をします。日曜日などを利用して、当日までに家屋内外の清掃や汚物塵芥の処理を充分に行なつて下さい。

開禁(十一月)

渡部 六 愁

銃眼に遠峰あり遠嶺は紅葉す
湖深し影も映さず鳥渡る
クレバスの色もつたべの鯛雲
貫い子の目尻に涙枯葉落つ
線香に煙る仏間が冷えまじく
ブドウ剪る女の髪が匂う朝
秋を鋤く牛は乳張る声で鳴く

新産都市「富山」を視て

伊藤邦夫

秋田湾地区と似ている先進地
われわれ議員一行京谷、中村、菅生、渡部、渋谷、桜庭、伊藤の七名は、富山―高岡地区の新産都市を視察するため、過日、同地区の中心地富山市を訪れた。

裏日本に位置するこの地区は、既指定十三地区の中で気象、土地条件を始め、多様な面でもっとも秋田湾地区と類似しており、われわれもそうしたところに学ばべきものを期待したのである。

開口一番、富山市議会事務局局長は「誘致をめぐる陳情合戦は史上最大のサワギといわれたが、いざ指定はなつたものさつぱりおもしろくない」という。

しかし、この地区の「新産都市―百万都市建設」の構想は、まず日本海の主要港湾の一つである北

の富山港、南の伏木港（本県の秋田―船川港の様）の間にある射水平野部（高岡市が本町のような地形になつている）を新産市の湾をさらつた土で埋め立てて、工場を誘致し住宅団地を建設して「百万都市」づくりをすすめるようというものである。これによつて新産市の湾は、富山新湾として生まれ変わるという一石二鳥の計画だ。（秋田―船川港の間に天王新港を建設しようというそれとにている）

こうして、新産工業開発地としてこの地区は、対岸貿易とくに北洋材や中国貿易の根拠地として躍り出ようというもので、すでに一部では工事が進められている。先行投資は危険か？

ところが、指定をうけて四年を経た現在、かんじんの工場進出が

いまだ一社もなく、五年先にくるのか十年先なのか、そのへんのメドがついていない。土地を手放した農家にとつて、工場が来ないということは死活問題だ。また、新産都市建設は富山、高岡両市の間にある二十市町村の財政にも大きなヒズミをもち、この三年間ですでに十億円をつぎこんだ富山新産建設の地元―新産市は、もし工場が来ない時はいつたどうなることか、そうした先行不安の表情はかくしきれない。

財政のひ弱な町村は、借金払いに四苦八苦の状態で、市との合併を望んでいるという話も聞かれた（借金との結婚は敬遠されているが：合併促進はなされているのが事実だ）。坪二、三千円の住宅地が三、四万円に暴騰していることも、この構想の足をひっぱつていく一つのようだ。

町づくりのガメツさ
鳴りもの入りの新産都市も、関係者が予想したほどの進展はしていないようだ。

これらが実現のための条件整備か、先行投資のムダかについては論議のわかれるところであるが、こうした地方負担の重荷の悩みをよそに、富山市当局の行政をすすめる基本となる現実的な言葉が印象的だつた。「工業開発は県にまかせる。市は市街地を拡大し、住民福祉の面で住宅環境の整備に力を入れる。刺激剤としても、新産都市指定はそれなりに意義はあると思う―」このことを裏つけるであらう共同し尿処理場が、四ヶ市

町村の境界地に建設されている。―猛暑のなか、さわやかな涼風をわれに感じて帰路に着いた。（町議会議員）

空気銃を所持するみなさんへ

十一月一日から狩猟が解禁になり、空気銃もこの日から使用できます。しかし、空気銃による密猟や事故があつたとをたぢません。あなたが空気銃を使用できるのは、①狩猟免許をうけて狩猟する場合、②空気銃射撃場で射撃する場合（秋田市割山―秋田県警察学校射撃場）だけです。

次のことは必ず守つて下さい。
◇許可証のない銃は使えません。
◇未成年者は扱えません。
◇狩猟免許証を持たずに鳥をうつてはいけません。
◇小鳥類ではすずめ以外は保護鳥ですからうつてはいけません。
◇市街地、人家の近く、公道、神社、墓地、鳥獣保護区、禁猟区でうつてはいけません。

◇日の出前、日没後はうつてはいけません。
◇人畜、建物、汽車、電車、バス船に向けてうつてはいけません。

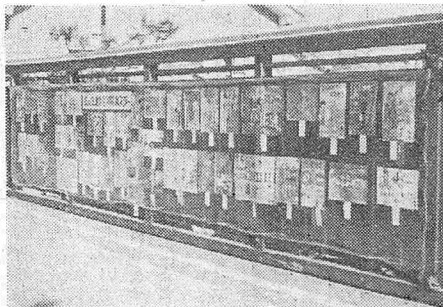
大友君ら入賞

交通安全ポスター

先に行なわれた秋の交通安全旬間の一策として、天王町交通安全対策協議会が町内五つの小・中学校から募つた交通安全ポスター

は四十一編（各学年一編）が応募。次の九名が入賞した

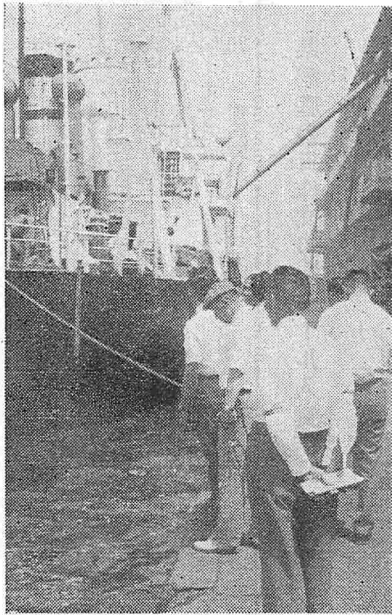
- | | | |
|-----|----|-------|
| 東湖小 | 一年 | 大友まさる |
| 出戸小 | 二年 | 古山 晴子 |
| 天王中 | 二年 | 三浦 啓子 |
| 銀賞 | | |
| 追分小 | 二年 | 山本よう子 |
| 出戸小 | 六年 | 菊地 孝子 |
| 天王中 | 三年 | 京谷真理子 |
| 銅賞 | | |
| 追分小 | 四年 | 鎌田和香子 |
| 天王小 | 六年 | 石井加代子 |
| 天王中 | 一年 | 京谷百合子 |



これから

火災シーズン

十一月四日から秋の無火災運動週間が始まりますが、これからは火災の発生しやすい時期に入ります。火災の大部分は不注意からおこります。火のあと始末、暖房器具の取扱いなどには十分注意し、火災予防にとめて下さい。



（富山港を視察す一行）

選挙人名簿の縦覧について

九月十五日現在で調整した①基
本選挙人名簿、②秋田海区漁業調
整委員会委員名簿を左記により縦
覧に供します。

期間―十一月五日～十九日まで
時間―午前八時半～午後五時

県家庭の日作文コンクール入賞作品

出戸小 三年

古山 とくひろ



きょう
は「かて
いの日」

なのでとうさんもかあさんも、は
やく畑からかえつて来ました。そ
してかあさんは、すぐ手をあらつ
て、ばんごはんを
つくりました。

かていの日

おかずなんだ」と
聞くと、かあさん
は「きょうはライスカレーだ。何
がしたか」といって、少ししてか
ら「なしてライスカレーつくつた
がわかるか」とぼくにききまし
た。ぼくは「わががった。きょう、
かていの日だからだべ」という
かあさんは「そのごどわがつてい
だら、とうさんさ手つだつてこ
い」といいました。

ぼくは「うん」といって、ぶた
小屋に走つていくと、とうさんが
いつしようけんめいぶたのえさを

場所―天王町役場内
この名簿には次に該当する人が
載つています。
①・②の名簿
一、昭和二十年十二月二十一日
以前(二十一日を含む)に出

生した人。
一、昭和四十年六月十四日以前
より、引き続き天王町に居住
している人。
②の名簿だけ
一、年九十日以上漁船を使用
する漁業を営み、または漁業
者のために漁船を使用して行
う水産動植物の採捕、もしく
で、みんなおなかいつばいたべま
した。

ごはんがおわつてから、かあさ
んが、げんかんから大きなおかし
のはいつたふくろをもつてきまし
た。みんないまに集つておかしを
たべながら、かあさんのしかいで
かていの日の話し合ひの会をはじ
めました。

さいしよとうさんが、ねえさん
に「よくがんばつたな」といって
ほめてくれました。つぎはにいさ
んです。にいさんは朝ねぼうだか
ら「これから朝早くおきる」とい
いました。まり子ねえさんは、つ
うしんぼがあまりよくなかつたの
で「これからは、もつともつと勉
強する」といいました。ぼくは、
このごろくらし方がわるくなつて
きたので「毎日の生活をきちんと
します」といいました。

みんな話し合つたことを一ばん
上のねえさんが、はんせいちよう
に書きとめておきました。そして
こんどのかていの日まで「みんな
できめたやくそくを、よくまもる
ように」とかあさんがいって、か
ていの日のををりました。

は養殖に従事する人。
※この名簿に載つていないと
二月二十日以降の選挙の際、投票
出来ないことがあります。あなた
や家族が載つていないかどうか必ず
確かめて下さい。(その他、詳細
は役場内・選挙管理委員会へお問
い合わせ下さい)

生後九十一日以上の方に
ついて次の日程により、狂
犬病の予防注射を実施しま
す。

◎十一月十六日(午前十時
～十一時) 下出戸神社
前、浦沼、細谷、上・下
出戸、出戸開拓の犬
◎十一月十六日(午前十一
時～正午) 大崎保育所
前、大崎の犬
◎十一月十六日(午後一時
～二時) 天王共有地事
務所前、天王、江川の犬

狂犬病予防注射を

九月中に婚姻届のあつた方
(印は戸籍の筆頭者)

北天	大札	上脇	二角	児徳	湯塩	上名	江古	江川
王浦	崎市	川本	町田	玉島	口市	辰巳	源二	源二
○斎藤	○黒田	○近藤	○中村	○須藤	○加藤	○辰巳	○源二	○源二
石黒	三浦	田口	田口	須藤	加藤	辰巳	源二	源二
昌子	三浦	和子	和子	健蔵	喜三	喜三	喜三	喜三

◎十一月十七日(午前十時～正午)
役場前、二田、児玉の犬
◎十一月十七日(午後一時～二時)
羽立公民館前、羽立、中羽立
洪谷、塩口の犬
◎十一月十八日(午前十時～正午)
追分公民館前(金足地区) 追分、追分西、北野の犬。

▽費用
登録料 三百円(春に登録済の
犬は不用)
注射料 二百円(指定場所外で
の注射は百円加算)
注射済票 三十円
(生後九十日以下の犬について
も飼犬標識(無料)を交付しま
すので、当日前記場所においで下
さい。

※犬の登録(年一回)、注射(年
二回)は狂犬病予防法により義務
づけられております。必ず受けて
下さい。

大和	昭海	北道	天海	宮城	羽立	大洪	大洪	五大
崎町	道王	立立	立立	立立	立立	立立	立立	立立
○三浦	○菅原	○神谷	○米屋	○水谷	○鈴木	○米谷	○三浦	○吉田
松男	節子	利明	玲子	長雄	正子	応治	弘光	政子

九月中に死亡届のあつた方
天王 杉淵 尊之助(73才)
天王 真壁 キエ(43才)
二田 菊地 サタ(64才)
天王 戸田 定吉(78才)
江川 武田 ツヤ(49才)
九月中に出生届のあつたもの
男十三名、女十一名、計二十四名